



## 救急情報シート作成の目的



- ・ 救急出動件数の増加、救急車の不適正利用により、救急搬送による病院到着時間が年々遅くなっています。
- ・ 搬送病院を選定する際には救急隊員や救急救命士が傷病者の様々な情報を収集します。高齢者は通院歴、病歴、介護状況など若年者に比べて多くの情報が必要となります。
- ・ 「救急情報シート」を活用し現場滞在時間を短くする事により少しでも早くに病院へ搬送できる事を目的に作成されました。

## 用語説明

### ◎救急救命士

救急車に乗車して、搬送の間に専門的な救命処置を行う国家資格を有した者。具体的には、器具を用いた気道確保、静脈路確保、薬剤投与がある。



器具を用いた気道確保



静脈路確保



薬剤投与

### ◎救急車の適正利用

救急医療は限りある資源であるが救急車の出動件数は増加傾向にあり、高齢化の進展などにより今後も増えていくことが見込まれている。また救急要請の約4割が入院を必要としない軽症患者で、早期に救急車を必要としている重傷患者の搬送時間が延伸しているのが全国的に問題になっている。